Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. 注意事項
  - 2.1. 本書について
  - 2.2. ドキュメントのカスタマイズについて
- 3. Sphinxビルド環境の構築
  - 3.1. Sphinx セットアップ
  - 3.2. 動作確認
- 4. 全文検索エンジンの利用
  - 4.1. node セットアップ
  - 4.2. oktavia セットアップ
  - 4.3. Sphinx ドキュメントへの適用
  - 4.4. 動作確認
  - 4.5. 全文検索エンジンを利用しない場合
- 5. ドキュメントのディレクトリ構成と各種ファイル
  - 5.1. ディレクトリ構成
  - 5.2. 各ファイル
    - 5.2.1. conf.py ファイル
    - 5.2.2. テーマ
    - 5.2.3. rst ファイル
- 6. サードパーティ ライセンス一覧

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-05-29	初版
2016-09-01	第2版　下記を追加しました ■ 「 *全文検索エンジンの利用* 」-「 *動作確認* 」において、注意事項をコラムとして追加

注意事項

本書について

- 弊社から提供した状態の ドキュメントのソースをビルドし、HTML版のドキュメントを生成するまでの手順書です。

> **注意**
>
> Windows環境を例とした構築とビルド手順です。

ドキュメントのカスタマイズについて

- Sphinxの使い方・利用方法などについては、弊社サポートの対象外となります。あらかじめご了承ください。
  Sphinxについては、<http://sphinx-users.jp/reverse-dict/index.html> 等を参考にしてください。
- 弊社から提供後にカスタマイズされたソースにおいて、ビルドエラー等が発生しても、弊社では対応致しかねます。
  弊社から提供した状態のソースは、ビルドは成功している状態となります。

Sphinxビルド環境の構築

項目

- Sphinx セットアップ
- 動作確認

Sphinx セットアップ

1. インストーラをダウンロードします。
   https://bitbucket.org/sphinxjp/website/downloads/
   SphinxInstaller_ja-1.1.3.20121026-py2.7-win32.zip をダウンロードします。

   > **注意**
   >
   > 最新バージョンでは正常にビルドされません。

2. インストーラを起動しセットアップを行います。

   > **コラム**
   >
   > インストール先として次のパスを指定します。
   > 例：C:\Sphinx

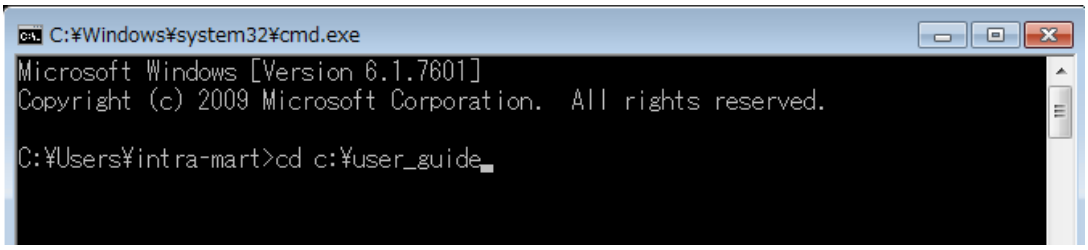
3. 環境変数PATHに追加されている事を確認します。

   > **コラム**
   >
   > 例：C:\Sphinx\bin

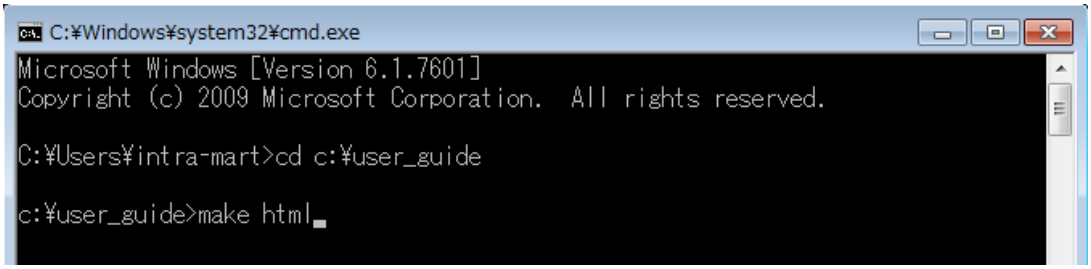
動作確認

1. Sphinxソースをビルドします。
   - 任意のディレクトリに配置したSphinxソースのプロジェクトに、コマンドプロンプトで開きます。

     > **コラム**
     >
     > 例：intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド
     > C:\user_guide

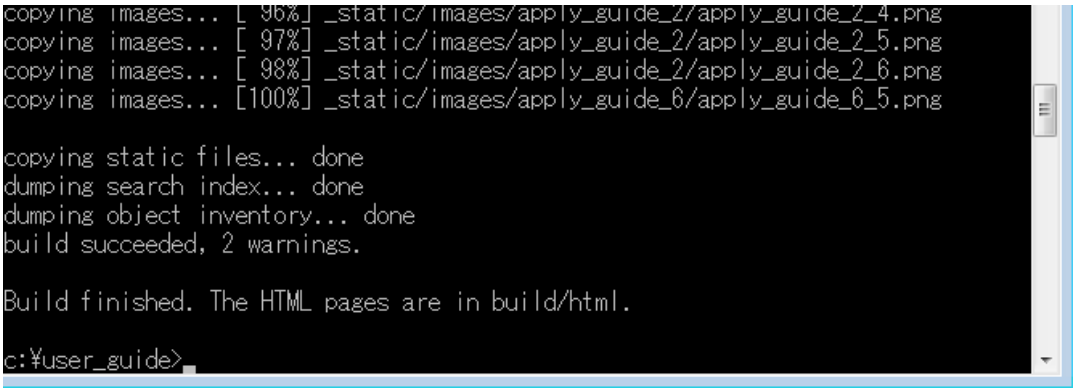
     

   - コマンドプロンプト上で、次のコマンドを入力します。
     make html

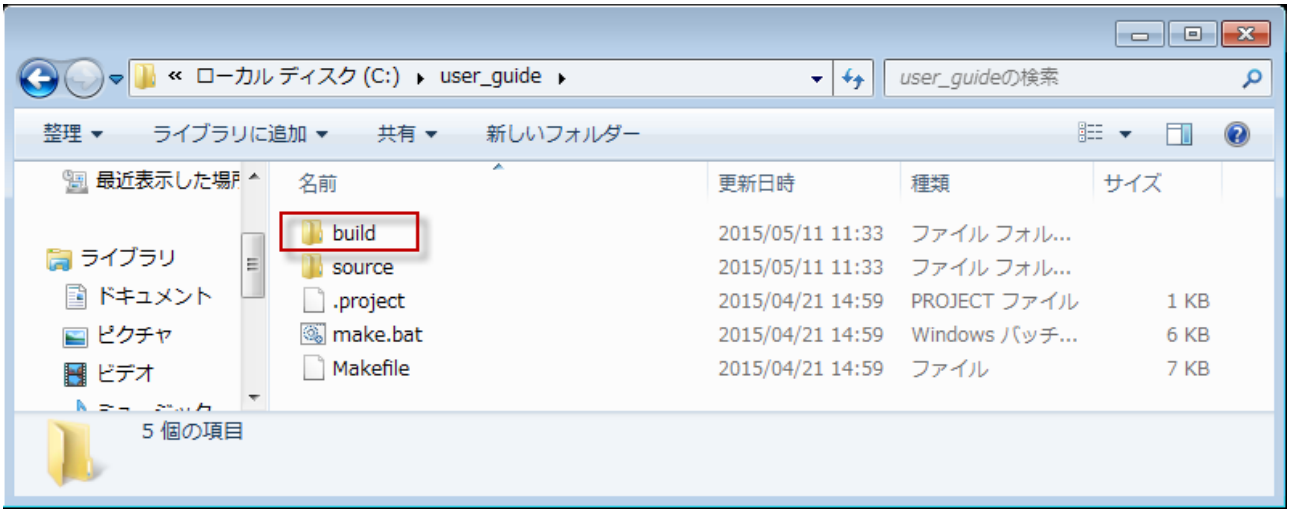


ビルドが完了すると、次のメッセージが表示されます、

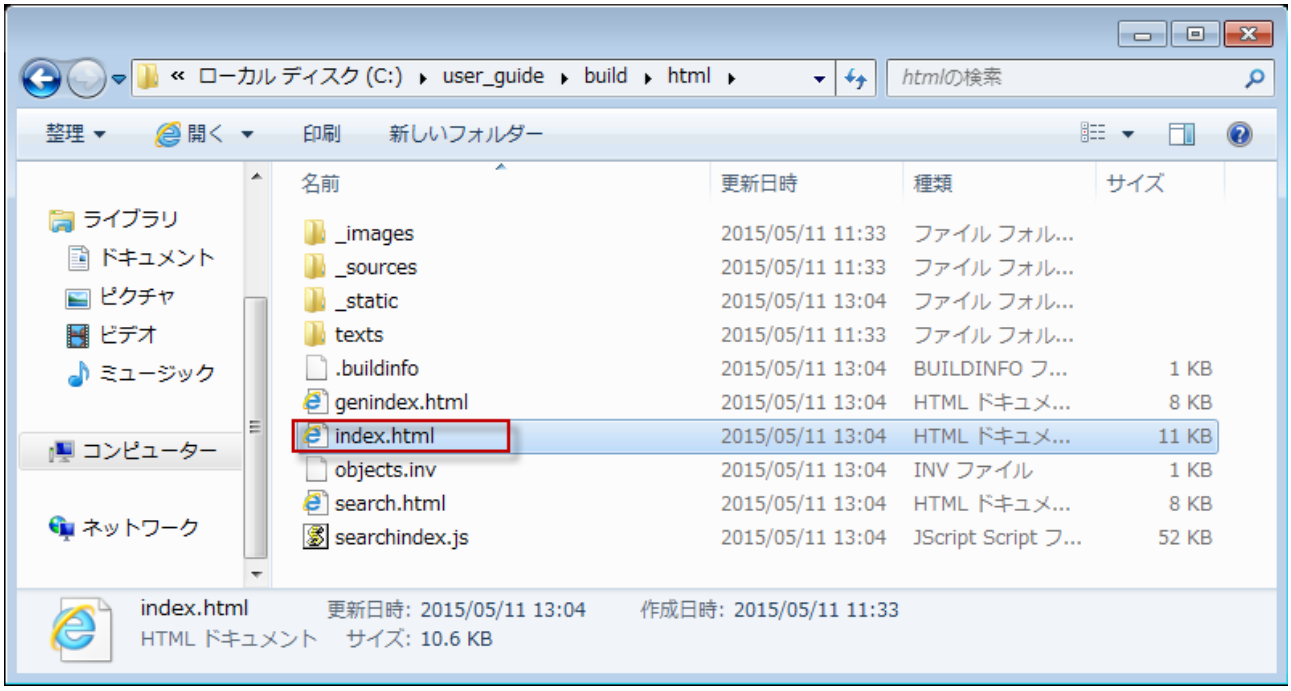
Build finished. The HTML pages are in build/html.



- ビルドが完了すると、Sphinxソースのプロジェクトディレクトリ直下に **build/html** ディレクトリが生成され、html版のドキュメントが確認できます。



- build/htmlディレクトリ直下にある、 **index.html** ファイルを任意のブラウザで開きます。



html版のドキュメントをブラウザ上で確認できます。

全文検索エンジンの利用

- ドキュメント内の全文検索を利用する場合次のセットアップが必要です。

項目
- node セットアップ
- oktavia セットアップ
- Sphinx ドキュメントへの適用
- 動作確認
- 全文検索エンジンを利用しない場合

node セットアップ

1. インストーラをダウンロードします。
   https://nodejs.org/download/
   Sphinxをビルドする実行環境に合わせたインストーラをダウンロードします。
   node-v0.12.2-x86.msi
   node-v0.12.2-x64.msi
2. インストーラを起動しセットアップを行います。

oktavia セットアップ

1. インストーラをダウンロードします。
   oktavia.zip
2. 任意のディレクトリに展開します。

> **コラム**
>
> 例：C:\oktavia

Sphinx ドキュメントへの適用

1. ビルドを実行するSphinxドキュメントの実行ファイルを編集します。
   - 任意のディレクトリに配置したSphinxソースのプロジェクト直下にある、 **make.bat** ファイルをテキストエディタで開きます。

> **コラム**
>
> 例：intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド
> C:\user_guide\make.bat

   - L.51とL.52の間（下図の点線）に次のコマンドを追加します。
     node %oktaviaを展開したディレクトリパス%/bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u file -f .content -c 5 -t web -o build/html/searchindex.js -l

> **コラム**
>
> 例：C:\oktavia ディレクトリに展開した場合
> node C:/oktavia/bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u file -f .content -c 5 -t web -o build/html/searchindex.js -l

```
48
49  if "%1" == "html" (
50          %SPHINXBUILD% -b html %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/html
51          if errorlevel 1 exit /b 1
52          echo.
53          echo.Build finished. The HTML pages are in %BUILDDIR%/html.
54          goto end
55  )
56
57  if "%1" == "dirhtml" (
58          %SPHINXBUILD% -b dirhtml %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/dirhtml
59          if errorlevel 1 exit /b 1
60          echo.
```

```
48
49  if "%1" == "html" (
50          %SPHINXBUILD% -b html %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/html
51          node C:/oktavia.git/bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u f
52          if errorlevel 1 exit /b 1
53          echo.
54          echo.Build finished. The HTML pages are in %BUILDDIR%/html.
55          goto end
56  )
57
58  if "%1" == "dirhtml" (
59          %SPHINXBUILD% -b dirhtml %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/dirhtml
60          if errorlevel 1 exit /b 1
```

動作確認

1. ビルドを行います。

> **コラム**
>
> ビルド方法は、「 *動作確認* 」を参照してください。

2. html版のドキュメントをブラウザ上で確認します。

> **注意**
>
> ブラウザ上に表示した際、ブラウザによっては Worker のローカル実行に関するセキュリティエラーが発生します。この場合、全文検索が利用できません。
> 回避方法として、Webサーバにコンテンツの設定をして確認を行ってください。

全文検索エンジンを利用しない場合

- 全文検索（クリック検索）の部品を外す事ができます。

1. レイアウトファイルを編集します。
   - %Sphinxドキュメントディレクトリ%/source/common_all/amy/layout.html をテキストエディタで開きます。

     > **コラム**
     >
     > 例：intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド
     > C:\user_guide\source\common_all\amy\layout.html

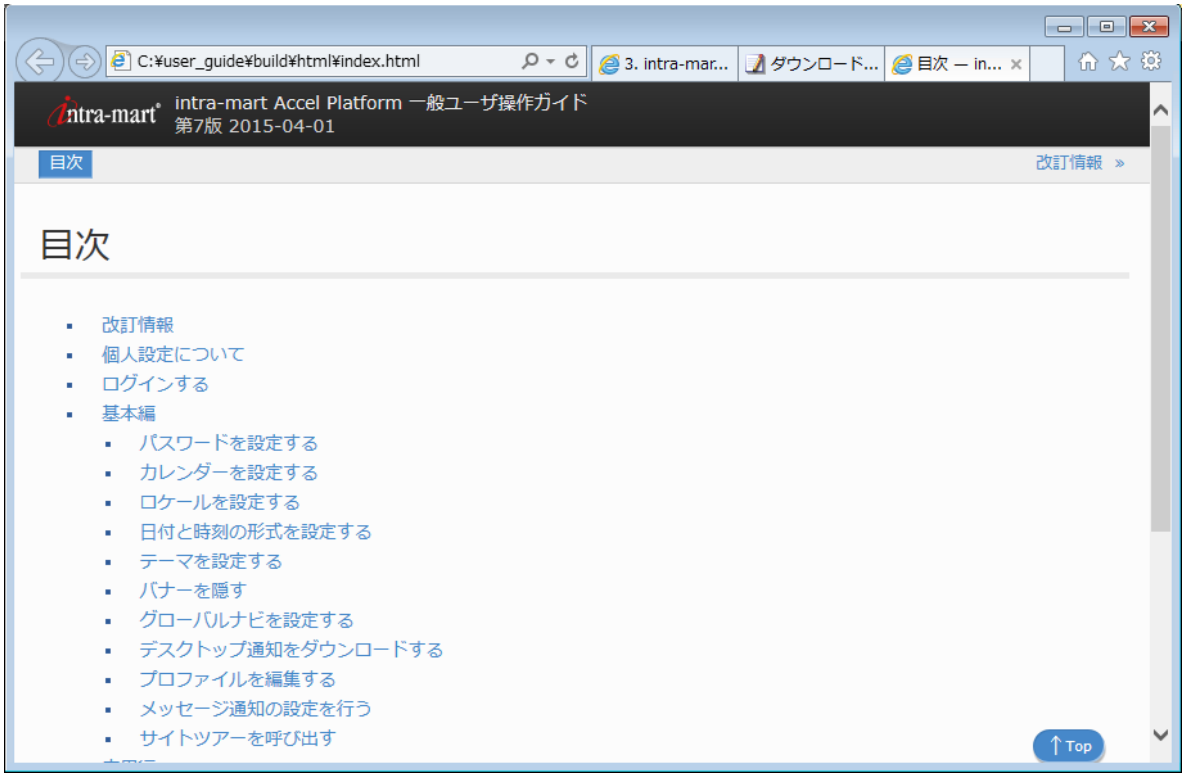
   - L.96-L.98の3行をコメントアウトします。

```
92          <span class="heading-supplementation">{{ release|e }}</span>↓
93        </p>↓
94      </div>↓
95      ↓
96      <div class="quicksearch">↓
97        {%- include "searchbox.html" %}↓
98      </div>↓
99    </div>↓
00  ↓
01    <div class="nav topnav">↓
02      {{ amyNav() }}↓
03    </div>↓
```

   - ビルドを行います。

     > **コラム**
     >
     > ビルド方法は、「 *動作確認* 」を参照してください。

     html版のドキュメントをブラウザ上で確認できます。


C:¥user_guide¥build¥html¥index.html
3. intra-mar...
ダウンロード...
目次 — in...
intra-mart
intra-mart Accel Platform 一般ユーザ操作ガイド
第7版 2015-04-01
目次
改訂情報 »
目次
改訂情報
個人設定について
ログインする
基本編
パスワードを設定する
カレンダーを設定する
ロケールを設定する
日付と時刻の形式を設定する
テーマを設定する
バナーを隠す
グローバルナビを設定する
デスクトップ通知をダウンロードする
プロファイルを編集する
メッセージ通知の設定を行う
サイトツアーを呼び出す
Top

ドキュメントのディレクトリ構成と各種ファイル

- カスタマイズを行うにあたってディレクトリ構成と各種ファイルについて説明します。

項目

- ディレクトリ構成
- 各ファイル
  - conf.py ファイル
  - テーマ
  - rst ファイル

ディレクトリ構成

- 主要なディレクトリとファイル

```
– [ドキュメントプロジェクトのルートディレクトリ]
            ├─source
            │        ├─ texts
            │        │     └─ *.rst
            │        ├─ index.rst
            │        ├─ conf.py
            │        └─ dictionary.txt
            │
            ├─common_all
            │            └─ sources
            │                    ├─ dictionary.txt
            │                    └─ link_dictionary.txt
            │
            └─common_module
                        └─ sources
                                └─ dictionary.txt
```

- sourceディレクトリ

  実際のドキュメントのページとなるファイル群が含まれているディレクトリ

- common_allディレクトリ

  intra-mart全ドキュメントで共通利用する辞書ファイル等の格納ディレクトリ
  通常は、SVN上の別ディレクトリ上で管理され、外部参照する事で一元管理します。

- common_moduleディレクトリ

  同一カテゴリ(機能）単位で共通利用する辞書ファイル等の格納ディレクトリ
  通常は、SVN上の別ディレクトリ上で管理され、外部参照する事で一元管理します。

各ファイル

conf.py ファイル

- ドキュメントを構成するための定義ファイルです。

テーマ

- source/conf.pyファイル「html_theme」要素で設定しています。
  現在設定されているテーマは、intra-martオリジナルのテーマです。他のテーマに変更する事も可能です。

rst ファイル

- ドキュメントの内容が表示されるソースファイルです。

サードパーティ ライセンス一覧

- Sphinxドキュメントをビルドするために次のサードパーティ製品を利用しています。

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Sphinx	1.3	GPL	http://www.sphinx-doc.org/en/stable/
oktavia	1.0	MIT	http://oktavia.info/ja/pages/license.html
node	0.12.2	MIT	https://nodejs.org/en/